

□議員名：矢田松夫

1 市長の政治姿勢について

論点	市長選挙が無投票当選になったことについて嬉しかったのか、反面残念であったのか、どのように総括されているのか。
回答	特段嬉しいとか残念とか、そういう感情はない。率直にフラットな気持ちで無投票であったという事実を受け止めている。

論点	新聞報道での無投票当選がおめでたいと言う祝辞について、どのような感想を持っているのか。
回答	めでたいかどうか、そのようなことに対しての思いはない。

論点	財政調整基金の取崩しは基金の枯渇も余儀なくされ、財政運営に禍根を残す市長の施政方針になっていないか。
回答	毎年、繰入れ予算の範囲で予算編成を行うことは難しい状況であり、事業の平準化、市債のコントロール、その他目的基金の効果的な活用等を行い、安定した財政運営を行う。

論点	本市は、市長就任時から約5万人に人口が減少しているが、基本的な人口増についての取組を問う。
回答	歯止めの利かない人口減少は、全国共通の課題であり本市においても例外ではない。交流人口との一時的なものにとどまらず、継続的に本市の発展に関わる関係人口を創出していく。

2 乳児等通園支援事業について（どこでも誰でも通園制度）

論点	利用者の要件は全く不要なのか。
回答	就労の有無や理由といった利用者の要件は不要となっている。

論点	障害児についての受入れは可能か。
回答	障害のある子もない子も誰でも受入れができるよう、面談等で子供の特性や状態、保護者の状況等を丁寧に把握しながら検討をしていく。

3 空家等活用促進区域活性化事業について

論点	Aスクエア周辺の自治会に、50軒を超える空家が存在しているが、今後の解体促進に向けた取組について問う。
回答	当該区域の空家所有者等に対し、誘導用途に適合する跡地活用の解体について補助金制度の内容等を送付することになっている。

論点	空家を解体し活用することが目的ではなく、最終的にはAスクエア周辺に経済的社会利益や需要を生み出さなければならない。経済部だけでなく政策課題の企画部との連携も必須ではないか。
回答	区域内での新規事業を促進するためにはハードとソフト両面での一体的支援も有効的な取組の一つであり、部を超えた連携は不可欠である。